

## 目標達成計画

作成日: 平成25年11月25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
3	10	家族会の設立を求める要望もあり、家族の意見を反映し、事業所のケアの見直し等に繋げる。また、ご家族が意見の出しやすい、共に支える役割を深め信頼関係構築を図ること。	家族会の設立によって、入居者様の現状を共に考え、安心あるホーム環境を創り出す。	①家族会を設立する主旨を文書にて提案し同意を求める。②家族会設立準備まで会則(案)を定め、初回開催時に審議し、代表者決定。③発足後は、定期的に家族会主催で進行、依頼時は管理者、代表参加。④運営・介護等の報告を行い、ご家族からの意見を反映していく。	6～12ヶ月
1	19	ご面会時や電話にて生活状況や医療面について説明は行っていたが、説明の統一性や業務の慌たしさもあり、「聞けない雰囲気」を与え、信頼関係の構築に至っていない。ご家族と事業所のご本人に対する情報収集に対する「差」がまだある。	ご家族と事業所の信頼関係構築を図るためにご家族とのコミュニケーションを、それぞれのご家族の想いを受け止めた対応を行うことで、ホームでの生活の安心に繋げる。	①ご家族にとって「相談しやすい」環境を職員それぞれが自覚する。②ご家族の想いをユニットチームとして共有し説明する。③職員が積極的にご本人の生活状況について、ご家族に説明し共有していく。④ご家族を含め、カンファレンス参加を積極的に勧める。	12ヶ月
2	31 33	重度化を支えていく事業所として、介護職の医療との連携、変化時の対応などの不安が大きい。介護職員が不安が少なく、出来ること、出来ないことを理解し、看護職の指導、医師からの予見された身体変化の説明を受け、「日頃のケア」「独りにさせない」等ケアの質が高められる。	①重度化していく過程でのケアよりも「日頃のケア」の重要性を理解した取組が出来る。②また、不安に対し、職員間で共有しながら、チーム力を養うことが出来る。③高齢者の「生」「死」を考えたケアへの取り組みが出来る。	①いつもと違う”身体、行動の変化を重視した観察力を養って行く為に、日々ケアの根拠づけを振り返る。②医師・看護師からの状態変化時の対応の理解を深め実践できる。③緊急連絡網を通じ、連絡体制により適切なケアが出来る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。